

まちなか×大空地区コンパクト＋ネットワーク共創人材育成事業

応募様式A

十勝バス株式会社

事業の基礎情報

事業実施地域	帯広市
人材育成の対象	大空学園義務教育学校 先生・生徒、高・大学生、交通事業者、中心市街地活性化協議会関係者
習得するスキル	交通・モビリティに関する知見 ・ データ活用のノウハウ ・ まちづくりとの連携/協働
人材育成の手法	データ・デジタルツイン活用による実践型ワークショップ、事業者との共創フィールドワーク
人材育成の内容	データ分析（人流、バス乗降、統計の掛け合わせ）、フィールドワーク（デジタルツイン活用）
想定受講人数	50人以上
想定育成人数	10人以上

現状・課題

（地域交通に係る人材の現状・課題）

主要商業施設の閉店・撤退といった、市民の生活を支えてきたサービス拠点が失われる中、昨年度、共創人材育成事業で大空学園の生徒を対象にした講義・ワークショップを実施。モビリティが実現する大空の未来像のアイデアを共創し、帯広のまちなかと大空のまちとのモビリティによる人・モノ・サービスのシームレスな連携と、モビリティハブや商店のある拠点でのにぎわいづくりを期待するアイデアが多く出現したが、まちづくり関連の事業計画への織り込みや多様なステークホルダーの巻き込みには至らず、コーディネーターに求められる具体化・具現化に向けたアクション・スキル・ノウハウ獲得の取り組みが課題として残存。

未来像実現に向けた課題	課題解決のための人材の課題	必要な人材のスキル
- 公共交通利用によるまちなかのアクセシビリティのあるべき姿 - 大空小学校跡地の利便性施設へのアクセス方法 - 大空町内の輸送と町外輸送との連携の在り方	- 移動やまちづくりに関するデータを元に事実を導出できること - 事実から課題・仮説と妥当性を考察できる - 多様なステークホルダーと協働し合意形成を図れること	- データ分析/課題抽出/仮説構築の検討スキル - まちづくりと連携し具体的なイメージをもって関係者に説明・相談できるスキル - 多様な意見を整理しまとめられるスキル

運輸局・運輸支局
への事前相談

北海道運輸局

令和5年度共創モデル実証
プロジェクトの補助有無

有

講義・ワークショップへ約80名が参加し、大空町の移動課題と対策の未来像12案を作成。今年度はこの具体化に向けて、開始中のまちづくり関連事業の基本計画等を共創する。

まちなか×大空地区コンパクト+ネットワーク共創人材育成事業

応募様式A

十勝バス株式会社

取組の概要

(事業の概要)

まちなか和大空の「コンパクト」拠点を結ぶ「ネットワーク」の実現に向け、生徒・住民・関係事業者と共創を推進できる人材育成を目的とした事業を行う。

①対象者	②形式	③内容	④習得目標スキル
- 大空学園先生・生徒 - 高・大学生 - 交通事業者 - 中心市街地活性化協議会関係者	- ワークショップ(WS) - フィールドワーク(FW)	A) 人流データとバス利用実績データの分析と、3DモデリングとAR等を活用した現地フィールドワークを通じたバス停位置・ダイヤ・ルートの再編案づくり B) モビリティハブ候補地のAR等を活用した現地フィールドワークと巡回型モビリティの乗車体験等を通じた大空エリアの移動環境改善案作成 C) モビリティマネジメントの一環である「帯広市ノーカーデー」の効果向上に向け、ロータリークラブ活動と連携・共創しながら行政担当者とのディスカッションを通じてイベントを実行 D) 住民アンケート・ヒアリングによる需要調査と課題抽出	- データ分析 - 課題抽出、仮説構築、対策立案、評価・検証等 - デジタルツイン活用によるアイデアの具体化 - ステークホルダーとの合意形成

データ分析のイメージ



3Dモデリング&ARの活動イメージ



乗車体験車両(想定)



※プログラム実施に必要な関係者がいる場合、下記に具体的に記載してください。

プログラム実施に必要な関係者	関係者の役割
株式会社ユニ・トランド	路線バス乗降実績データの収集・集約、活用に関する支援
日野自動車株式会社	自動運転化を見据えた最新のモビリティ車両の乗車体験、活用方法のレクチャー
IAV株式会社	デジタルツイン(3D/AR)を使ったフィールドワークの支援
KPMGコンサルティング株式会社(KPMGモビリティ研究所)	データ分析方法、およびデジタルツイン活用方法のレクチャー、フィールドワーク支援（講師として宮代アドバイザーを予定）
事業主体において、これまで同種の育成事業に取り組んだ実績の有無	有 KPMGコンサルティング株式会社は、R5年度のさいたま市地域交通共創人材・コーディネーター育成事業で、データ分析・活用に関する講義・ワークショップの企画・実行推進を担当。 講義：40～50名、ワークショップ：15名が参加して、データ分析のやり方や分析結果からの課題設定、仮説構築、事業スキーム案作りまでを実践。全員が実証実験・社会実装に継続して取り組む意思を表明。

まちなか×大空地区コンパクト+ネットワーク共創人材育成事業

応募様式A

十勝バス株式会社

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

取組	内容	担当者（実行支援：十勝バス）	得られるスキル
A	人流データとバス利用実績データを調達して前処理を実施。地理情報システムを活用して分析しながら、未来実現のための課題抽出とバス停位置・ダイヤ・ルートの仮説構築に取り組む	・データ準備：ユニ・トランド ・モデル準備：IAV	・データによる要因分析 ・課題抽出・仮説構築方法
B	並行して生徒に3Dモデリングをレクチャーし、まちなかや小学校跡地の構造物やバス停のモデルを作成。現地でAR等を活用しながら巡回型モビリティの乗車体験を行い、モビリティと人の動線の具体化と改善に取り組む	・乗車体験準備：日野自動車 ・講師：KPMGモビリティ研究所 ・企画・運営・結果整理：KPMG	・デジタルツイン活用方法 （3Dモデリングスキル含む）
C	A、Bで分析した事実を元に、ノーカーデーの活動ターゲットを選定し、参加促進のためのプラン作りと関係者との交渉・調整を行う	・活動支援：プラットフォームメンバー ・企画・運営・結果整理：KPMG	・モビリティマネジメントの理解度 ・合意形成スキル（プロセス等）
D	考察して具体化したバス停位置・ダイヤ・ルートの改善案について、大空学園生徒が主体となってアンケート・ヒアリング調査を行い、結果を元に案の評価・検証を行って改善案のレベルアップを図る	・活動支援：プラットフォームメンバー ・企画・運営・結果整理：KPMG	・対策立案、評価・検証 ・合意形成スキル（プロセス等）

実施項目	担当 (企画・実行推進)	時 期											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
■ 補助金交付申請	十勝バス、KPMG												
■ ワークショップ・フィールドワーク準備	日野自動車、ユニ・トランド、IAV、KPMG												
■ ワークショップ 実施	構成メンバー												
■ フィールドワーク実施 ※まちなかと大空小学校跡地でのFW	構成メンバー												
■ 結果振り返り、計画案作成	構成メンバー												
■ 実績報告	十勝バス、KPMG												

参加募集、ロジ作成、関係者調整、環境準備等

・データ分析、3Dモデリングの実践型集中WS
・デジタルチケット活用方法・サービス案作りのWS

生徒や参加者の予定に合わせた日程を組む予定

参加者と共創メンバーによる振り返りと結果整理

まちなか×大空地区コンパクト＋ネットワーク共創人材育成事業

応募様式A

十勝バス株式会社

取組の詳細

（地域交通にもたらされる効果）

効果項目	指標	想定（5年後時点）
路線バス利用者数の増加	乗降実績数（大空団地線）	5%以上増加
モビリティハブ利用者数の増加	利用者数	5%以上増加

（地域全体に及ぶ効果）

効果項目	指標	想定（5年後時点）
シビックプライド（自分が住む地域に対する誇り）の醸成	提案アクション数	3件以上
暮らしやすさ向上	住民人口（大空町）	増加
まちなかのにぎわい	店舗数	1軒以上増加

（補助事業実施後の予定）

データ分析／活用とデジタル活用の取り組みについては、十勝バスでの路線・ダイヤ等の検討業務として継続して実施。また、大空学園義務教育学校の総合学習では先生方を中心に共創メンバーが支援しながら交通・まちづくりというテーマで継続予定。藤丸再建・大空小学校跡地再開発といった事業と連携しながら、住民参加型のまちづくり関連ワークショップという形などを通じて交通・まちづくり課題解決に取り組む予定。資金面は公募事業の活用も想定する。大空エリア内輸送に関しては、来年度はローカルハブや大空小学校跡地の路線バスとの中継拠点を軸とした実証運行計画の策定に向けて、補助事業等への公募も視野に入れながら活動を継続する。

資金面

各プラットフォームメンバーが自己資金の活動範疇で業務での往訪予定機会を有効活用する予定